

会社概要／株式の状況 (2021年2月28日現在)

会社概要

会社名	シンメンテホールディングス株式会社 (英文表記：Shin Maint Holdings Co.,Ltd.)
資本金	236,000千円
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ
従業員数	202名(連結)
本店所在地	〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL 03-5767-6461 (代表)
創業年月日	1999年10月
事業内容	店舗・施設の設備機器及び内外装等の トータルメンテナンスサービス事業を行う 子会社の経営管理

役員 (2021年5月28日現在)

代表取締役会長兼社長	内藤 秀雄
専務取締役	村山 政昭
常務取締役 CFO	大崎 秀文
常務取締役	内藤 剛
社外取締役	脇本 源一
社外取締役	山縣 有徳
常勤監査役	荒川 勤
社外監査役	田村 稔郎
社外監査役	吉木 徹

株主メモ

〔事業年度〕	毎年3月1日～翌年2月末日まで
〔剰余金の配当基準日〕	8月31日 2月末日
〔定時株主総会〕	毎年5月中
〔株主名簿管理人〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〔事務取扱場所〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(通話料無料)
〔公告の方法〕	当会社の公告は、電子公告により行います。 http://www.shin-pro.com/ 但し、やむえない事由により、電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載しております。

シンメンテホールディングス株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL:03-5767-6461(代表)

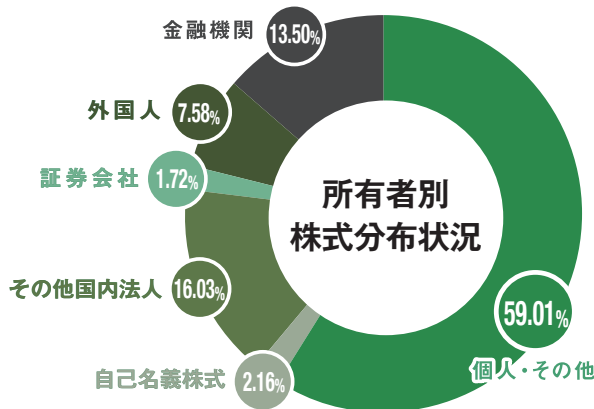
株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000 株
発行済株式の総数	10,599,496 株 (自己株式233,504株を除く)
株主数	2,902 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤 秀雄	2,331,100	21.99
株式会社乃村工藝社	1,096,848	10.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	880,400	8.30
内藤 剛	782,000	7.37
株式会社Shu Management	400,000	3.77
合田 利恵	378,000	3.56
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	282,800	2.66
GOLDMAN SACHS & CO. REG	272,400	2.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	232,300	2.19
アンドン株式会社	200,000	1.88

(注) 1. 当社は、自己株式233,504株を所有しておりますが、持株比率は自己株式を除外して計算しております。
2. 持株比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。



連結財務ハイライト

■連結貸借対照表より (単位:千円)

科 目	第35期	第36期
資産合計	5,897,734	5,886,291
負債合計	3,279,378	3,023,800
純資産合計	2,618,356	2,862,491

■連結損益計算書より (単位:千円)

科 目	第34期	第35期	第36期
売上高	14,152,117	15,678,393	14,420,064
経常利益	644,305	854,320	704,477
親会社株主に帰属する当期純利益	501,909	591,978	436,610

第36期 株主通信

2020.3.1 ▶ 2021.2.28

BUSINESS REPORT

シンメンテホールディングス株式会社



ごあいさつ



代表取締役会長兼社長
内藤 秀雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日々の生活や様々な活動が著しく制約を受けています。まずは、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び感染拡大により困難な環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束を心よりお祈り申し上げますとともに、医療従事者の皆様をはじめ、最前線で新型コロナウイルスと戦ってくださっている方々に心より感謝申し上げます。

当社グループは、大手飲食チェーンや物販・小売チェーン等に対して、チェーン本部に代わって店舗のメンテナンスを行うことを主たる業務としています。当社グループが展開するトータルメンテナンスサービス事業は、店舗・施設の設備・機器及び内外装等の修理・修繕といった店舗・施設運営には欠かせない業務をアウトソーサーとして担うことによって、お客様へ

利便性・効率性・経済性を提供しています。

メンテナンスサービスは、国内で5,000億円強のマーケットがあると考えられています。当社グループは、感染症予防体制を整え、24時間の依頼受付窓口と営業体制で、コロナ禍においても徹底してお客様に寄り添う体制を維持し、業界内のシェア向上に努めてまいります。また、かねてより取り組んできた飲食業界以外の業界へのビジネスを拡大するとともに、これまでに手掛けていなかった業態への販売促進活動を強化してまいります。

当社グループは、経営理念に「夢新」(むしん、ゆめあらた)を掲げて、常に新しいことにチャレンジし続けてまいりました。これからも豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えています。

今後とも株主の皆様のご期待に添えられるよう、日々精進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

IRインフォメーション

株主優待制度

●対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

●株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上、500株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 500円相当分の交付
500株以上、1,000株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付
1,000株以上	全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付

※「全国共通お食事券ジェフグルメカード」とは、全国35,000店舗の加盟店でご利用いただけるお食事券です。

●贈呈時期

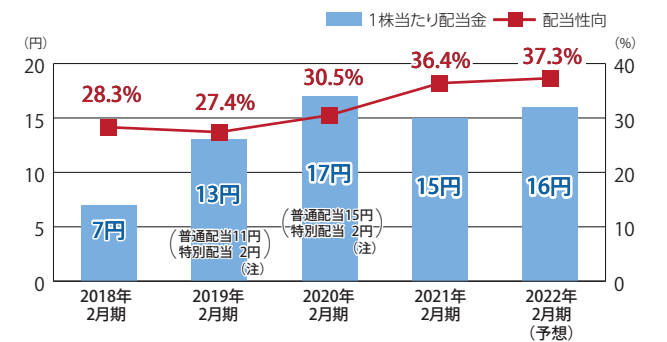
毎年、定時株主総会終了後にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送しております。



配当につきまして

●配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とし、配当と株主優待の総合的な株主還元を強化していくことを目指します。

1株当たり配当金と配当性向



※2020年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。本グラフにおける配当金は、遡及修正を行い表示しております。

(注)当初予算を超過したことによる特別配当を実施いたしました。

トップインタビュー

店舗運営に欠かせないメンテナンスサービス提供のため、アフターコロナを見据えた体制を拡充し、信頼の拡大に努めてまいります。

飲食業界にしっかりと寄り添いながら、飲食以外の業界へのサービス提供を本格化させてまいります。

Q 2021年2月期の業績についてお聞かせください。

A 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く環境下で、2021年2月期の業績については、居酒屋を中心とした飲食業界からの受注が減少したことで売上は前期を下回りました。一方、堅調な業績のドラッグストアや、巣ごもり需要に対応した物販・小売のほか、介護など飲食業界以外に幅広く実施した営業活動は、順調な成果を収めることができました。コロナ禍において空調・換気に関わるメンテナンス需要に積極的に取り組み、新規顧客の受注獲得、既存顧客の拡大にもつながりました。また、売上高の大半を占める「緊急メンテナンスサービス」は、コロナ禍で依頼件数は前期比減少となりましたが、突発的な設備・機器の不具合発生を未然に防ぐための「予防メンテナンスサービス」については、前期比で増加となりました。

利益面では、コロナ禍において店舗・施設運営におけるトータルコスト低減の対応を行うとともに、アフターコロナを見据えた体制づくりを進めつつ、一定の収益性を確保しました。

これらの結果、2021年2月期の業績について、売上高は144億20百万円(前期比8.0%減)、営業利益は6億88百万円(同18.4%減)、経常利益は7億4百万円(同17.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億36百万円(同26.3%減)となりました。

Q 今後の取り組みと2022年2月期の業績予想についてお聞かせください。

A 現在、ほとんどの大手飲食チェーンで当社グループのサービスをご利用いただいています。こうしたお客様にしっかりと寄り添って信頼を獲得するとともに、当社サービスのメリットを丁寧に訴求し、飲食業

界内でのシェア拡大を図ってまいります。また、引き続き飲食以外の業界にも積極的にアプローチしてまいります。重点業界と位置付けている介護業界に加え、保育事業者やホテル業界なども大きく拡大できる業界セグメントと認識して、経験・ノウハウを積み上げてまいります。さらに、新たに社会インフラを支える業界への参入にも取り組んでまいります。

以上を踏まえ、2022年2月期の業績予想につきましては、コロナ禍による不透明な事業環境が継続すると想定した上で、売上高155億85百万円(前期比8.1%増)、営業利益7億28百万円(同5.8%増)、経常利益7億32百万円(同3.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億54百万円(同4.0%増)を見込んでいます。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

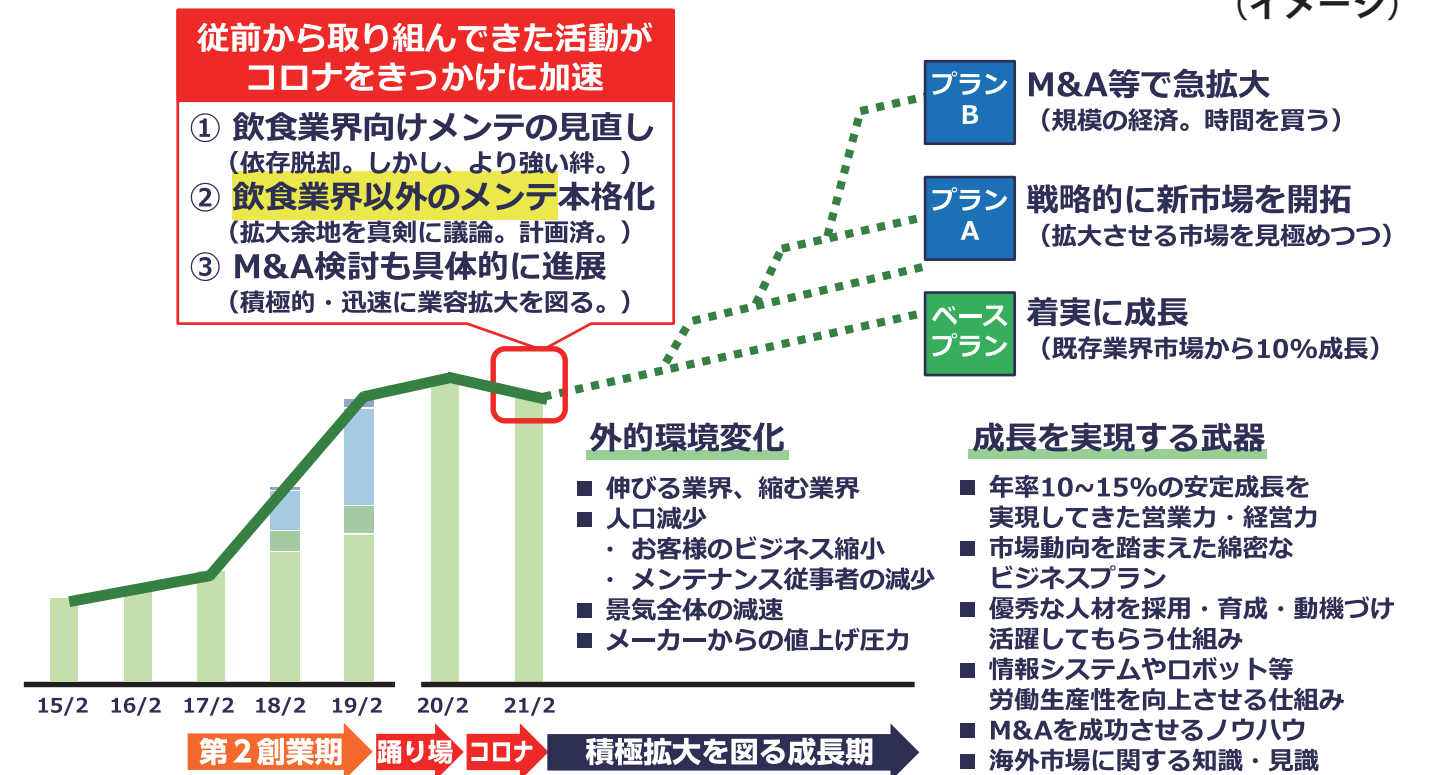
A 当社は、株主様への利益還元について、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としています。この方針に基づき、2021年2月期の期末配当は、1株当たり普通配当15円とさせていただきます。2022年2月期の期末配当については、1株当たり普通配当16円を予定しています。

株主優待制度については、従来どおり「全国共通お食事券ジェフグルメカード」を贈呈させていただきますが、2020年3月1日付で実施した、普通株式1株につき2株の割合での株式分割を考慮して保有株式数の基準を見直しました。分割後も対象の株主様を1単元(100株)以上として贈呈金額も据え置くなど、実質的な優待内容の拡充となっています。

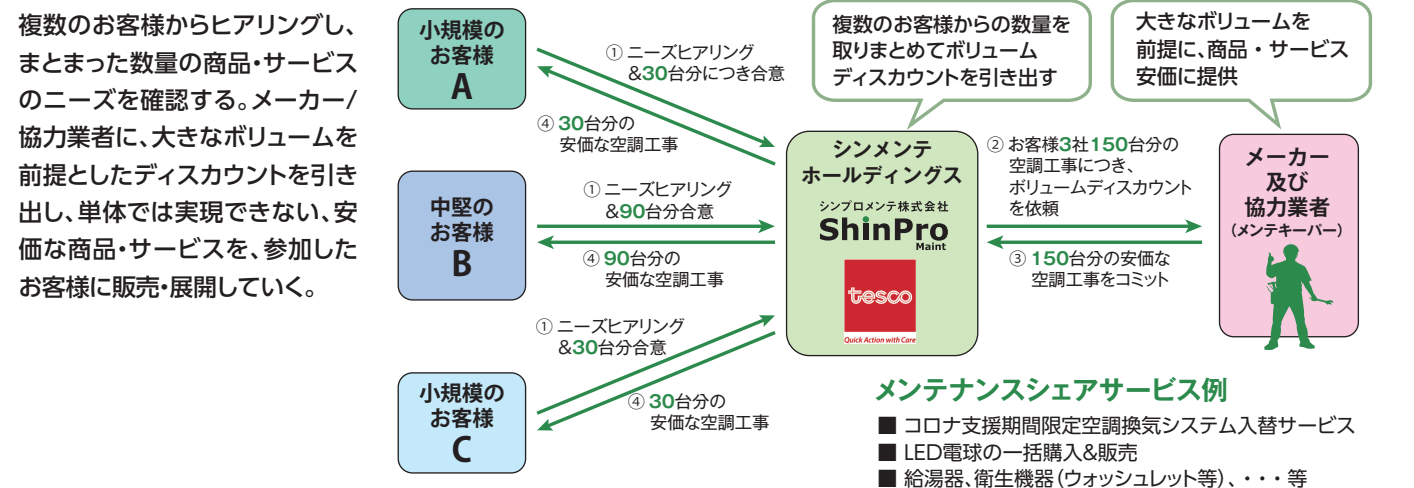
株主の皆様には、引き続きより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集

“アフターコロナ”と中長期の拡大戦略 (イメージ)



メンテナンスシェアサービス



ロボットによるエアコン洗浄サービス

3K(きつい、汚い、危険)と言われる業務用エアコンの分解洗浄業務。電力コスト削減、綺麗な空気に対する要求が高まる中、労働人口減少・洗浄の担い手不足が懸念される。ロボットによるエアコン洗浄は、「誰でも」「均一品質」を実現できる画期的な解決策。

これまで

- 2019年東京都立産業技術研究センターとの共同事業によりモーター、制御装置の改善開発を実施。
- 2020年運用面での使いやすさを追求し、改善開発を継続。

現在

- 2021年7月PSE試験終了、量産型機完成。
- 2021年下半年量産体制を順次稼働させ、実機を現場に投入。

今後

- お客様現場での実稼働を推進。コアとなる協力業者の育成を進めつつ、保守体制等を整え、業容拡大に向けて活動本格化。
- 業務用エアコン洗浄サービスで、圧倒的なシェアを獲得。

